

小児・AYA 世代の限局期成熟 B 細胞性リンパ腫に対するリツキシマブ併用化学療法の有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験
JPLSG-B-NHL-20

1. 研究代表者(氏名、施設)

関水 匡大 (国立病院機構名古屋医療センター)

2. 研究事務局(氏名、施設)

関水 匡大 (国立病院機構名古屋医療センター)

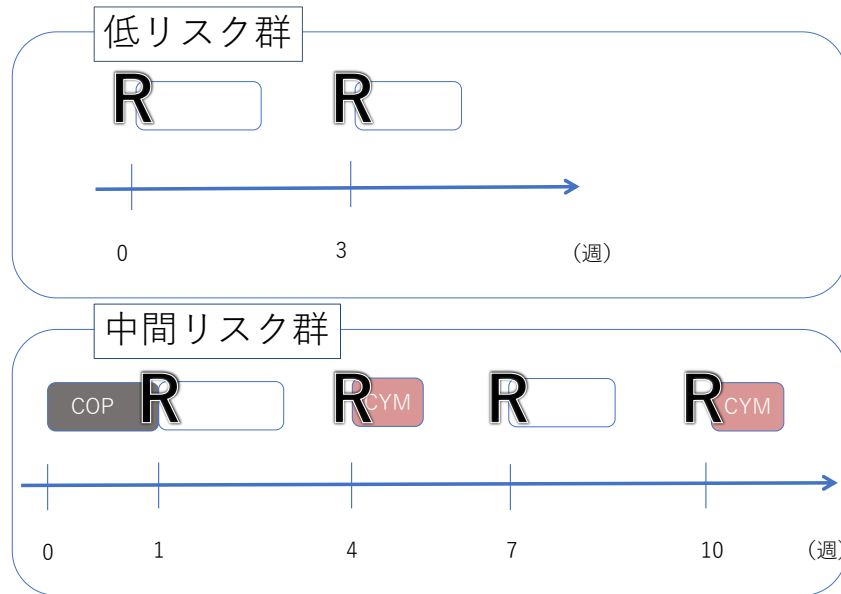
3. 目的

小児・AYA 世代の限局期成熟 B 細胞性リンパ腫は既存の化学療法剤による多剤併用化学療法の最適化により治療成績が著しく改善した。しかしながらその高い治癒率に比して、短期及び晩期毒性が強い治療が標準となっていることが課題である。本研究では、晩期毒性の少ない抗体薬のリツキシマブを導入することによって、治療成績を下げることなく短期及び晩期毒性の多いアントラサイクリン系薬剤を全廃することが可能かを検討する。

4. 対象

限局期の成熟 B 細胞性リンパ腫 (バーキットリンパ腫、びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫)

5. 治療(シエーマ可)



6. 予定登録数と研究期間

4年間で100例を予定しています。

7. 問い合わせ先

【研究代表医師（本研究全体の責任者）の連絡先】

病院名：国立病院機構名古屋医療センター

〒460-0001 住所：愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1

TEL：052-951-1111（病院代表）